

毛越寺大泉が池での義経公ねぎらいの場再現。
船遊びを多くの観客が見守った



JR平泉駅前、声援を受ける犬飼貴丈さん(右)



見物客に笑顔で手を振る義経公の妻「北の方」役、小野寺香乃さんは平泉町出身・在住。中学生で牛飼童子役、高校生では侍女役を経験し、「長年の夢だった」という大役を務めました



⑤牛飼童子役の中学生たち ⑥笑顔で観客に手を振る行列参加者 ⑦りりしい姿で鎧武者役を務めた厄年の男性

Topics

平泉町の姉妹都市・和歌山県田辺市より
弁慶役の真砂充敏市長ら11人が行列に

町の姉妹都市で、義経公の家臣「武蔵坊弁慶」生誕の地とされる和歌山県田辺市の真砂充敏市長や北田健治市議会議員ら11人が、源義経公東下り行列に参加しました。

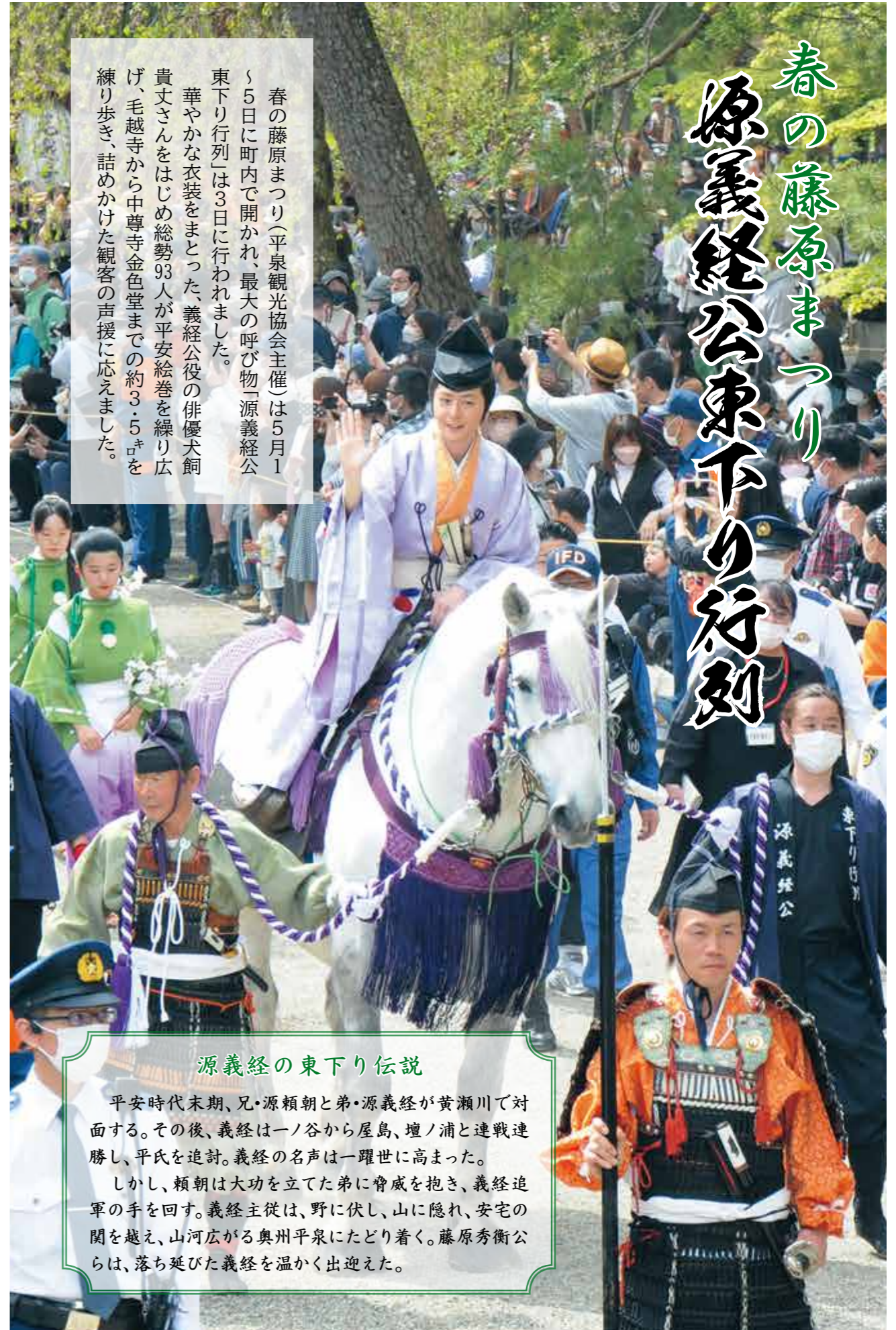
主要役者として真砂市長は弁慶役、北田議長は増尾十郎権守兼房役をそれぞれ務めました。田辺ライオンズクラブ役員や田辺市職員も行列に加わりました。

本行列後、真砂市長は「弁慶の認知度の高さを実感した」と充実感をにじませました。

【10分に関連】



武蔵坊弁慶役を務めた和歌山県田辺市の真砂充敏市長(右)と、増尾十郎権守兼房役の北田健治田辺市議会議員(右から2人目)=5月3日、JR平泉駅前



春の藤原まつり
源義経公東下り行列

春の藤原まつり(平泉観光協会主催)は5月1〜5日に町内で開かれ、最大の呼び物「源義経公東下り行列」は3日に行われました。
華やかな衣装をまとった、義経公役の俳優犬飼貴丈さんをはじめ総勢93人が平安絵巻を練り広げ、毛越寺から中尊寺金色堂までの約3.5キロを練り歩き、詰めかけた観客の声援に応えました。

源義経の東下り伝説

平安時代末期、兄・源頼朝と弟・源義経が黄瀬川で対面する。その後、義経は一ノ谷から屋島、壇ノ浦と連戦連勝し、平氏を追討。義経の名声は一躍世に高まった。

しかし、頼朝は大功を立てた弟に脅威を抱き、義経追軍の手を回す。義経主従は、野に伏し、山に隠れ、安宅の関を越え、山河広がる奥州平泉にたどり着く。藤原秀衡公らは、落ち延びた義経を温かく出迎えた。